

# 委員会視察レポート



総務常任委員会

文教・建設常任委員会

健康福祉常任委員会

市民生活常任委員会

本市議会では、委員会ごとに「年間活動テーマ」を決めて、調査・研究を行っています。今定例会の初日には、閉会中に各委員会が実施した先進地への視察について、各委員長から報告がありました。ここではその概要をお伝えします。

## 総務常任委員会

### 地域の声を拾い、まちづくりの拠点となる複合化を実現

#### 〈京都市立京都御池中学校・複合施設〉

同施設は「ひとづくり・まちづくりの拠点になること」などのコンセプトのもと、小中一貫校、保育所、高齢者施設、商業施設などが一体となった施設で、地域からの学校統合の要望をきっかけに設置されました。整備には民間活力を生かすためにPFI方式\*が採用され、整備費の大幅な圧縮・効率的な維持管理が可能となっていました。検証の結果、複合化に向けては地域の声を拾い育てることが重要と感じました。

#### 〈焼津市立東益津小学校・複合施設〉

同施設は、老朽化に伴う改築の際、公民館機能を校舎内に移転し複合化した施設で、「地域に開かれた学校」「地域で子供を育てる」という理念を具現化した施設となっていました。施設では、図書室などを共用スペースとしているほか、秋の公民館祭りや児童と高齢者との交流会など、複合施設を生かした学校と地域との交流を行っています。

した。検証の結果、複合化により世代間交流が生まれるなどのメリットを感じました。



5月10日  
京都御池中学校・  
複合施設にて



5月11日  
東益津小学校・  
複合施設にて

## 文教・建設常任委員会

### 自転車によるまちづくりには地域の声が必要

#### 〈北海道札幌市〉

札幌市では、自転車通行位置の明確化の取り組みを進め、その結果、自転車の車道通行率や安全性が向上していました。検証の結果、自転車通行空間の整備には、地域の声を聞きながら進めていくことが重要であるという意見が出ました。

#### 〈特定非営利活動法人ポロクル〉

ポロクルは、NPO法人が設立したシェアサイクル事業者であり、学生による管理運営や地域団体と連携した啓発活動などを行っています。検証の結果、地域と連携した啓発活動やサイクルポートの増設が必要であるという意見が出ました。

#### 〈札幌市立北陽中学校〉

北陽中学校では、令和3年度改訂の文部科学省の学習指導要領を踏まえ評価の見直しが行われていました。その取り組みの一つとして、定期テストを廃止し、単元テストを実施するなど、知識の詰

め込みだけでなく、学んだ知識を活用するアウトプットにも力を入れた指導をしている点が参考になったとの意見が出ました。



5月10日  
札幌市役所にて



5月10日  
シェアサイクル  
「ポロクル」を体験

## 健康福祉常任委員会

### こどもの居場所を継続支援する仕組みづくりが重要

#### 〈大阪府泉佐野市〉

泉佐野市は、市からこどもの居場所づくり事業を受託した団体により、子ども食堂だけでなく、民間事業者と連携した学習支援や、定期的な農業体験の実施といった取り組みが行われていました。検証の結果、こどもの居場所は本当に支援が必要で子供が利用しにくく、そのような子供たちが利用できているかの把握も難しいという課題があるため、ニーズの調査や効果測定をするといった視点も必要ではないかと感じました。

#### 〈兵庫県神戸市〉

神戸市は、こどもの居場所づくり事業補助金、各区社会福祉協議会への子育てコーディネーターの配置、専用ポータルサイトの開設など、団体支援の施策を積極的に実施していました。検証の結果、約7人に1人のこどもが貧困であるという深刻な現状を市民に知ってもらうことが重要である、継続的に運営団体を支援できる仕組みをつくって

ってはどうかといった意見が出ました。



5月9日  
泉佐野市内の  
学習支援会場にて



5月10日  
神戸市役所にて

## 市民生活常任委員会

### カーボンニュートラル実現に向けて

#### 〈京都府京都市〉

京都市では、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた脱炭素社会の実現をめざすことや、ごみの収集や処分を確実に効率的に実施するなど、市民、事業者との協働によりさらに推進していくとのことでした。検証の結果、同市でも導入しているプラスチックごみの削減効果のある給水スポットの設置を検討してみてもという意見が出ました。

#### 〈神奈川県小田原市〉

小田原市では、今後も継続して、再生可能エネルギーを主力とした分散型エネルギーシステムの構築を公民連携で行い、2030年までに、地域にある蓄電池、EVなどが、地域全体のエネルギーシステムの構成要素となって無駄なく最大限、効率的にマネジメントが行える仕組みを目指しているとのことでした。検証の結果、本市のエネルギー政策についても公民連携による取り組みという考え方が必要ではないかとの意見が出ました。



5月10日  
京都市役所にて



5月11日  
小田原市役所にて

\*PFI方式…公共事業の実施方法の一つで、民間の資金やノウハウを活用し、公共施設の設計や建設、維持管理などを行う手法